

みんなの大和NEWS

<発行部数 14500部>

発行/中野区大和区民活動センター運営委員会
編集/みんなの大和NEWS編集委員会
住所/〒165-0034 中野区大和町2-44-6

TEL/03-3339-6125 FAX/03-3339-6126
Email/nakano_yamato@coast.ocn.ne.jp
HP/http://www.nakano-yamato.gr.jp/



ヒガンバナ (大和町4丁目)

写真提供/多田全宏氏

“大和町の保育士さん、ありがとう!”



大和町には、4つの私立保育園と3つの小規模保育園に、1つの家庭的保育園があります。新型コロナウイルス緊急事態宣言中には、これらの保育園も休園対象になりましたが、仕事を休めない保護者のお子さんたちを、預かり続けてくださいました。“コロナへの恐怖と、仕事への責任感”という心の葛藤を抱えながら、保育を続けてくださった保育士さんに、保護者の方々からの感謝の言葉が集まりました。

緊急事態宣言中は、娘の好きな男の子も来ていなくて、ちよっと寂しそうでしたが、その分**保育士さんにいっぱい遊んでもらえた**と、とても喜んでいました。
本当にこれ以上はない感謝です!
《TAC 未来こども保育園大和町》
2歳女児の保護者さん

緊急事態宣言中も保育をお願いし、仕事を持っていく私にとって、随分メンタル面が助かりました。また、保育士さんのユーチューブが配信され、常に子供たちとの**コミュニケーションを**気遣っていただき、本当に感謝しかありません。
《おうち保育園なかの大和》
2歳女児の保護者さん

医療関係に勤務しているので、緊急事態宣言中も保育をお願いしました。
コロナから自分自身を守りながら、子供たちも守ってくれた保育士さんに、言葉では言い表せない感謝です!
《七海保育園》
3歳女児の保護者さん



近くに子供を預けられる親類がいなかったので、緊急事態宣言中も保育をお願いしていました。共働きの私たちにとって、保育園には**足を向けては寝られない**ほどの感謝です! ありがとうございます!

《大和東保育園》2歳女児の保護者さん

緊急事態宣言中は、医療関係者の子供の保育は断られることもある中、**引き続き保育をしていただき**、ただただ感謝です!
子供たちはお散歩がなかったと、少々不満でしたが、やっぱり保育園は楽しかったようです。

看護師をしている私の、二人の子供たちと普段通りに接していただき、保護者としても**落ち着いた気持ちで仕事に臨めました**。ありがとうございます!

《にじいろ保育園中野野方》
2歳と6歳男児の保護者さん

《田中ナースリー大和保育園》
1歳男児と5歳女児の保護者さん

保育士さんから、返信が届きました。

保護者の皆さまから、大きな元気をいただきました。

緊急事態宣言・臨時休園など、今まで経験したことのない状況の変化の中で、常に“子供が真ん中の保育”を考えてきました。しかし、保育園には通っていない未就園児の親子さんも含めた“地域の家庭支援”という保育士・保育園の命題を、十分に果たすことができず、心苦しく思っていました。それでも保護者の皆さまから、とても温かい言葉をいただき、保育士一同、感慨無量です。ありがとうございます。まだまだコロナ感染の恐怖は収まりを見せませんが、皆さまからのエールを心の糧として、引き続き子供たちと保護者さんに寄り添った保育を、心がけてまいります。一日も早く、皆さまに平穏な生活が戻ることを、お祈りいたします。



《田中ナースリー大和保育園》



《にじいろ保育園中野野方》



《七海保育園》



《大和東保育園》



《TAC 未来こども保育園大和町》



《おうち保育園なかの大和》



●大和区民活動センター運営委員会のホームページ用QRコードです。

次号「みんなの大和ニュース」は、2020年11月発行予定です。



ご報告します。

やっと7月から、集会室の使用が許可されました。でも、7月に入って感染者が増えていて、安心はできない状況が続いています。くれぐれも感染からご自身を守る生活を、お願いします。

“3密”ルールのもと、集会室が再開しました。

7月1日(水)から全室の利用が可能になり、センターに賑わいが戻ってきました。とはいえ、コロナ禍がまだ完全には収束してはいないので、人数制限の上、人と人の距離やマスク着用・換気・消毒に気を使いながらの再開です。それでも皆さんは、趣味の活動や友人との再会を楽しんでいました。



卓球クラブ「スピン」



「吊るし雛教室」

「健康体操カトレア」も5ヶ月ぶりの再開です！



7月6日(月)に「みんなでワイワイ」が再開し「ポッチャ」を楽しみ、13日(月)には「椅子を使った楽しい体操」も行われました。両体操とも、コロナ予防対策のためのルールを守っての開催でしたが、皆さんの顔は体を動かした充実感と、久々の友人たちとの楽しい語らいに輝いていました。

「<第7回>中野区検定」

(後援/中野区・中野区教育委員会)

- 日付/令和2年(2020年)12月6日(日)
- 会場/中野区産業振興センター(中野区中野2-13-14)
- 内容/中野区に関する歴史・地理・文化・産業などから出題
一般の部: 50問(60分) 年齢制限なし
ビギナーの部: 30問(45分) 年齢制限なし
*一般で受検し高得点者は「ものしり博士」と認定
- 申込期間/10月1日~11月16日(FAX・メール・郵送・電話)
- 受検料/検定実施日に支払い *一般1,500円(高校・大学・専門学校生1,000円) *小・中学生500円 *ビギナー300円
- 主催・問合せ/公益財団法人 中野区教育振興会 中井
TEL:3228-5544 FAX:3385-9319
メール: bz720662@bz03.plala.or.jp

美鳩小、新校舎へ！

大和小学校と若宮小学校が統合し、美鳩小学校が誕生してから3年5ヶ月。待ちに待った新校舎への引っ越しがありました。9月7日からここで授業が始まります。教室はベランダ付きで、体育館はエアコン付きです。さらに、校庭は人工芝になる予定です。また、新校舎の一部はキッズ・プラザになっていて、地域開放型図書館も併設される予定です。11月の展示会に合わせて、新校舎落成記念イベントとして身体表現の発表会も計画されています。ピカピカの校舎に負けないキラキラした笑顔の児童たちが、卒業までの時間を、仲良く楽しく過ごせますように！(H)



皆さまのご参加、お待ちしています！ 健康体操カトレア

- 時間/13:30~15:30
- 会場/当センター集会室
- 毎月第1月曜日は「みんなでワイワイ」10月・11月は「ポッチャ」です。(無料)
講師/長野誠先生(スポーツボランティア)
- 毎月第2月曜日は「椅子を使った楽しい体操」(無料)
講師/山本明子先生(中野区トリム体操連盟会長)

おじさんの地域デビュー しゃべっても良員会

- 日時/毎月第4木曜日 15:00~17:00
- 会場/当センター集会室
9月・10月の開催は未定です。事務局にてご確認ください。

60歳以上の方に マッサージ 三療サービス

- 日時/毎月第3木曜日 09:30~(当日09:00から電話受付)
先着14名様に限りさせていただきます。
- 費用/900円(45分)
*感染防止のためのルールを、予約の際にご確認ください。守れないと施術が受けられないこともあります。

10月~12月の恒例イベント情報

- 「大和地区合同防災訓練」中止
- 「<第45回>大和地区まつり」中止
- 「大和クリスマスコンサート」中止

伝言板

新型コロナの状況では中止になる場合もありますので、館内ポスター・ホームページ・事務局にてご確認ください。

■問合せ/大和区民活動センター運営委員会事務局
☎(3339)6125 Email:nakano_yamato@coast.ocn.ne.jp

YAMATO GALLERY

大和ギャラリー

■当センター1階ホール

9月から、展示を再開しました。

- 9月19日(土)まで
「<第19回>大和写真クラブ作品展」
- 9月23日(水)~10月10日(土)
「大和地区まつり/思い出の写真展」
- 10月12日(月)~26日(月)
「大和墨絵の会作品展」
- 10月27日(火)~11月14日(土)
「大和友愛会写真展」

地域のコミュニティカフェ。

カフェカトレア

《スタッフ募集》

9月再開予定でしたが、新型コロナが完全収束するまでは、お休みにします。再開のメドがいたら、館内ポスター・ホームページでお知らせします。



町会のお手伝い



取材現場の涌井さん

「私も中学3年生で母が他界し、兄弟姉妹と支えあってきましたので、子供たちも皆仲良く支えあってくれています。火事・水害にあつて、地域の皆さまに助けていただいたので恩返しが出来ればと、ボランティアを続けています。町会の子供縁日のお手伝いなどで、子供たちやお父さんお母さんと話す機会があり、楽しませていただいています。困難に遭遇しても、常に他者への感謝の気持ちと、好奇心を持って乗り越え活動される、涌井さんの姿に勇気付けられます。



涌井さんが発行している「週刊とうきょう」

下のお子さんが小学1年生の時にご主人が病気で他界され、女手一つで新聞社を切り盛りしながら4人のお子さんを育て、現在は娘さんが引き継がれています。
「私も中学3年生で母が他界し、兄弟姉妹と支えあってきましたので、子供たちも皆仲良く支えあってくれています。火事・水害にあつて、地域の皆さまに助けていただいたので恩返しが出来ればと、ボランティアを続けています。町会の子供縁日のお手伝いなどで、子供たちやお父さんお母さんと話す機会があり、楽しませていただいています。困難に遭遇しても、常に他者への感謝の気持ちと、好奇心を持って乗り越え活動される、涌井さんの姿に勇気付けられます。」
涌井さんは静岡県の交通会社で働いていましたが、趣味の短歌が縁で知り合った旦那様が勤務していた新聞社から誘われ、上京して新聞社で働くようになり、最初は集金などをしていました。結婚後、住んでいた都立家政の自宅が留守中に火災にあい、その後移り住んだ妙正寺川沿いの若宮の自宅も、洪水で床上30cmまで浸水するなど、何度も災難に見舞われました。その後、ご夫婦で新聞社を立ち上げ「悪口は書かない、投書を受けない、読者の方を裏切らない」をモットーとして独立したそうです。



涌井友子さん(大和町在住)
現在も新聞記者として働かれる一方、北協和会の青少年育成部員でボランティア活動をお話伺いました。

大和のマイスター★47
ナニも新聞記者を目指します！
見て、歩いて、書いて、町と人々をつなぐ

